

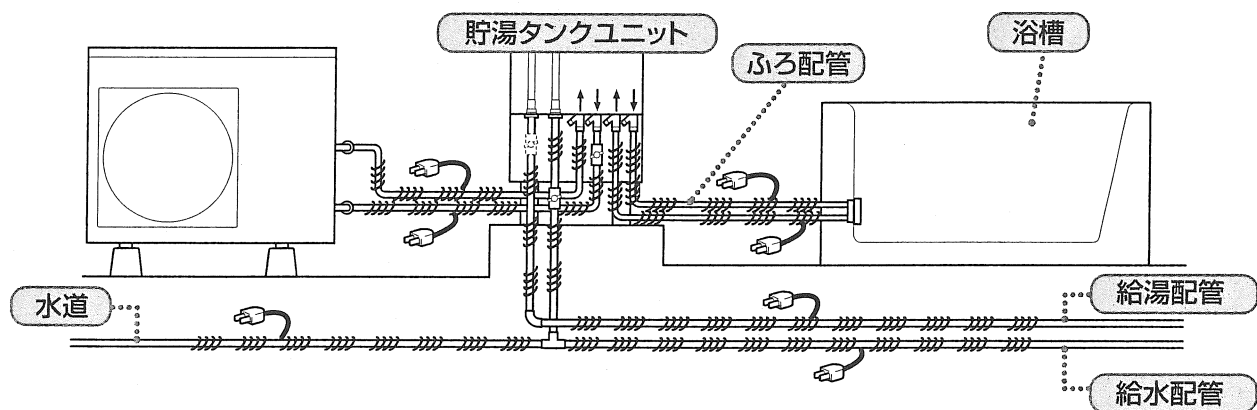
冬期の凍結予防について①

- 冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
販売店または据付工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

凍結防止ヒータ（配管の凍結予防）

凍結防止ヒータ（市販品）を使用するときは、すべての凍結防止ヒータの電源プラグをコンセントに差し込みます。

凍結防止ヒータ（市販品）を使用しないときは、すべての凍結防止ヒータの電源プラグをコンセントから抜いてください。



お願い

- 配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、販売店または据付工事店へご連絡ください。

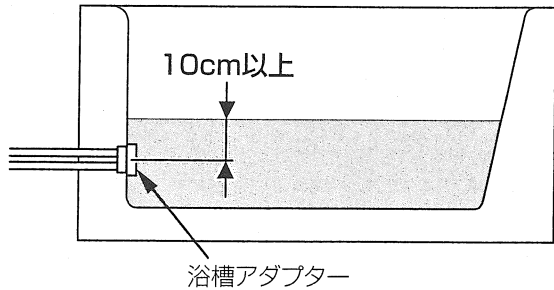
△注意

- 配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

冬期の凍結予防について②

ふろ配管の凍結予防（浴槽の残り湯循環）

自動保温または追いだき終了後、凍結しそうな気温になると、循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。



① 入浴後、浴槽の湯を排水せず残しておく。

- 浴槽アダプター中心より10cm以上の水位としてください。

② 自動で凍結予防運転をします。

- 外気温が約3℃以下になると、自動的に循環ポンプを運転し、ふろ配管に残り湯を循環させます。

お知らせ

- 自動保温または追いだき終了後、入浴中でも凍結防止が働き、配管内の冷めた水が浴槽に出ることがあります。
- 残り湯がある場合は条件になると繰り返し凍結予防運転を行います。

このようなときは